

「第2次枚方市一般廃棄物処理基本計画（素案）」についてのパブリックコメント（結果公表）

「第2次枚方市一般廃棄物処理基本計画（素案）」についてのパブリックコメントにつきまして、市民の皆さまからご意見をいただき、ありがとうございました。お寄せいただきましたご意見と、ご意見に対する本市の考え方を以下のとおり公表します。

意見募集期間	令和7年12月5日（金）～令和7年12月24日（水）
意見提出者数	4名
公表意見数	5件

No	ご意見の要旨	枚方市の考え方
1	<p>市は高温で焼却できる炉を持っており、生ごみと一緒にペットボトルを捨てても同じではないのか、また、ごみを分別しても適切に再生利用されているのか疑問を持っている。再生利用されているのかを市の広報などでお知らせいただくと、もう少し分別に協力する割合が増加するのではないかと。</p> <p>今の時代は地球温暖化への対策として、資源の再生利用が必要であり、プラスチックをはじめ、さらなる省エネルギー化・省資源化が求められている。</p>	<p>市民の皆さまに分別して排出いただいている「ペットボトル・プラスチック製容器包装」や「空き缶、びん・ガラス類」などの資源ごみは、それぞれ再生利用を行っています。</p> <p>ごみの分別に協力していただくために、資源ごみがどのように再生利用されているのかを情報発信することは重要であり、計画（素案）ごみ編においても、環境教育・環境学習や情報発信の推進、分別排出の促進を掲げています。今後も様々な機会を捉え、多様なツールを活用しながら情報発信を行い、さらなる資源循環を進めていきます。</p>

2	<p>一般ごみの有料化により専用袋の購入が必須となると、これまでスーパーの袋を利用していた分のごみが増加する可能性がある。また、物価高の中での負担増は家計を圧迫する。有料化に伴い「ごみを出さない」「ごみ屋敷でも構わない」と開き直す世帯が増え、ごみ屋敷の増加を招く恐れがある。</p>	<p>ごみの有料化は廃棄物の排出抑制や再生利用等による資源循環を推進するための有効な施策であり、国の基本方針においても推進を図るべきとされていることから、本市としても、一般ごみの有料化の検討を計画（素案）ごみ編に位置付けています。</p> <p>一般ごみの有料化については、市民に負担を求めるだけでなく、利便性を十分に考慮するとともに、不適正処理に繋がることのないよう検討を行います。</p>
3	<p>ごみの減量とは趣旨が違うが、ごみ処理券を売る時、料金を手入力して販売しており、手間などが発生しているため、コンビニと連携して「バーコード付きのごみ処理券」にして欲しい。導入されている市町村もあるので、検討していただきたい。</p>	<p>計画（素案）ごみ編のとおり、効率的なごみ処理手数料の支払い方法について、市民や事業者の利便性を高めるためにも、具体的に検討を進めていきます。</p>
4	<p>計画に賛成する。食品ロスの問題や削減の必要性の理解を深めるための啓発・情報発信、優良事例の周知について、積極的かつ頻繁に、広く行っていただけることを期待する。</p>	<p>食品ロスは世界的にも大きな課題であり、今回、新たに食品ロス削減推進計画を盛り込んだ計画にするなど、重要な柱として位置付けています。</p> <p>計画（素案）食品ロス編のとおり、市民・事業者と連携して積極的に情報発信を行うなど、食品ロス削減に向けた取り組みを進めていきます。</p>
5	<p>上下水道は、人が暮らしていく、生きていくのにとっても大切なインフラであり、特に下水道の老朽化が心配なので、必要な予算は確保していただきたい。</p>	<p>計画（素案）生活排水編において、公共下水道の老朽化対策を進め、計画的な維持・修繕及び改築を行い、適切な維持管理を図ることとしています。</p> <p>下水道施設の老朽化対策については、国の補助金などを活用しながら、引き続き取り組みを進めていきます。</p>